

日本比較文化学会関西支部 2023 年度 3 月例会のお知らせ

立春の候、関西支部会員の皆さまには、ご清栄のことと存じます。以下の通り、関西支部 3 月例会を開催いたします。万障お繰り合わせの上、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

日時：2024 年 3 月 9 日（土）13:30-17:00

会場：同志社大学今出川キャンパス 弘風館 41 番教室・49 番教室

<https://www.doshisha.ac.jp/information/campus/imadegawa/overview.html>

■ 研究発表 13:30～15:10

	弘風館 41 番教室	弘風館 49 番教室
13:30 ～ 14:00	榎木 幹人（東北大学大学院国際文化研究科博士課程） 時空間メタファー動詞の類型論 —英語と中国語を中心に—	史 蕊（広島大学大学院人間社会科学研究科博士課程後期） 中国における太宰治文学紹介の萌芽期に関する研究 —1940 年代に現れた太宰治文学の中国語翻訳作品への考察を通して—
14:05 ～ 14:35	佐古 恵里香（流通科学大学特任講師） 山内 信幸（同志社大学教授） 第 2 言語習得における <i>interprototype</i> 仮説 —心に固定化するイメージの諸相に着目して—	早川 有香（京都橘大学国際英語学部専任講師） 統合ステークホルダーシップ・モデル：ステークホルダーの高い関与を実現するガバナンスの形態として
14:40 ～ 15:10	橋尾 晋平（名古屋外国語大学専任講師） 「意味順」を用いた日本人中級英語学習者のリーディング授業の実践報告	

■ 第 1 講演 15:25～16:05（弘風館 41 番教室）

小林 裕子先生（京都橘大学文学部歴史遺産学科教授）
ほとけを「うつす」

■ 第 2 講演 16:15～16:55（弘風館 41 番教室）

曾 秋桂先生（台湾淡江大学教授・台湾日本語教育学会理事長・淡江大学村上春樹研究センター長）
DX 時代における日本語教育現場の課題 —生成 AI の ChatGPT とメタバースの利活用を例に—

■ 閉会 16:55～17:00（弘風館 41 番教室）

山内 信幸（日本比較文化学会関西支部長）

*例会終了後、烏丸今出川の「アジアンレストラン芙蓉園」(<https://kyoto-fuyouen.jp>)で、懇親会を開催いたします(会費、3,000円程度)。参加される会員は、3月4日までに、事務局(北林)まで電子メールでお知らせください。

今後の予定

第46回全国大会・2024年度国際学術大会

日時：2024年5月18日(土)

会場：椋山女学園大学星が丘キャンパス

大会テーマ：比較文化学と情報社会—AI時代の到来を踏まえて

※ 詳細については日本比較文化学会のウェブサイト(<https://hikakubunka.jp>)をご覧ください。

関西支部の例会は、2024年度も、10月、12月、3月(2025年)に予定しています。日程が決まり次第、学会のサイトで告知いたします。研究発表をご希望の支部会員は、関西支部事務局までお願いいたします。

日本比較文化学会関西支部事務局(京都橘大学国際英語学部北林研究室内)
北林利治 VZV00407@nifty.com (大文字VZV、00407は数字です)